

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県川崎臨港警察署協議会
日 時	令和6年2月9日（金）午後3時から午後5時までの間
場 所	神奈川県川崎臨港警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 会 長 上野 拓子 副会長 秋元 孝子 委 員 大川原 勝 松元 直樹 松本 光生 山口 保 計6人</p> <p>2 警 察 署 側 署 長 仲戸川 博幸 各課長 警務課長 春日 吉男 会計課長 龍造寺 喜久枝 生活安全課長 西山 直秀 地域課長 杉野 匡政 刑事課長 千葉 智司 交通課 坂井 秀樹 警備課長 吉野 史章 計8人</p>
	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
議事要旨	<p>1 前回の諮問 大規模災害に対する警備諸対策について</p> <p>2 答申 (1) ホームページ等の媒体を利用した広報活動を推進して下さい。 (2) 大規模工場等が密集する管内情勢であることから、従業員の避難経路を企業側と事前協議して下さい。 (3) 大規模災害時における高齢者や外国人世帯に対する対応を事前に推進して下さい。 (4) 警察と行政機関との連携強化を推進して下さい。</p> <p>3 措置結果の説明 (1) ホームページ等の媒体を利用した広報活動を推進状況 リニューアルされた警察署ホームページに、改めて災害に対する備えへの啓発とワンクリックで本部危機管理対策課のホームページや川崎市ポータルサイトを閲覧できるようにした。他に、交番の日キャンペーンでのチラシ配布、管内薬局に対して防災チラシを置いてもらい、啓発活動への協力を依頼した。</p> <p>(2) 大規模工場等が密集する管内情勢であることから、従業員の避難経路を企業側と事前協議。 川崎市においては、「川崎市地震対策条例」を定め、企業・事業所は、自らの責任と負担において地震防災に必要な体制の確立に努めることを責務とし、企業等向けに「川崎市防災対策ガイドブック」「BCP（事業継続計画）作成のススメ」を配布して、大規模災害対策への備えを求めていることから、今後も、行政や消防等と連携して訓練等、防災対策を推進する。</p> <p>(3) 大規模災害時における高齢者や外国人世帯に対する対応 ホームページに掲載した内容を印刷したチラシを、高齢者向けに文字を大きくしたもの、外国人向けの英語版、事業者に向けた3種類のチラシを作成し、様々な機会に配布した。</p>

(4) 警察と行政機関との連携強化を推進

警察本部を事務局に県知事、政令指定都市首長等、官公庁、民間企業等340団体が参加する「テロ・災害対策神奈川協力会」に出席し、突発事案発生時の相互協力・支援等、緊密な連携強化を図った。

また、今年度中に、行政・交通機関・一時滞在施設・防災関係機関が参加し、大規模災害発生時の川崎駅周辺帰宅困難者を想定した訓練を実施する予定で、今後も関係機関との連携を強化する。

諮問

アクティブ交番の効果的な運用について

答申

- ・ アクティブ交番の周知活動の推進、特に小学校等で説明会を実施すれば、必然保護者へも浸透するものと思われる。併せて警察署ホームページ等の媒体を利用した広報活動を推進して下さい。
- ・ アクティブ交番活動スケジュールを、予め警察署や町内会の掲示板に掲出するなどの工夫が必要であると思われます。
- ・ 活動場所を増やす努力と、各種キャンペーンやイベントへの開設を検討して下さい。

業務説明

令和5年10月～12月の業務推進結果及び令和6年1月～3月の業務推進重点について、各課長より口頭説明を行った。